

順位	氏名（議席）	発言の要旨
7	山岡 祐貴（1）	<p>1. 中心市街地の価値と今後の方向性について</p> <p>富士市中心市街地活性化基本計画は平成16年に策定されて以降、20年以上が経過しています。その間、少子高齢化の進行や消費行動の変化など、中心市街地を取り巻く社会環境は大きく変化してきました。こうした中で、商業と中心市街地の関係や、地域における中心市街地の役割自体も変化してきているものと認識しています。このような状況を踏まえ、以下質問いたします。</p> <p>(1) まちなかの「にぎわい」の目的と価値について</p> <p>第六次富士市総合計画においても「まちなかのにぎわい創出」という文言が掲げられていますが、まちなかがにぎわうとはどのような状態を指しているのか、改めて伺います。</p> <p>(2) 「にぎわい」の評価指標（KPI）について</p> <p>まちなかのにぎわいについては、その評価指標が必ずしも明確でないと感じています。</p> <p>本市において、中心市街地のにぎわいをどのような指標で評価しているのか伺います。</p> <p>(3) 施策の方向性について</p> <p>中心市街地の活性化においては、不動産所有構造の複雑化や担い手不足など、構造的な課題が存在していると認識しています。本市として、こうした課題をどのように整理し、どこにボトルネックがあると認識しているのか伺います。</p> <p>その上で、これまでの施策はイベント開催など需要創出型の取組が中心であったと認識していますが、それらが構造的課題の解消にどの程度寄与していると評価しているのか伺います。</p> <p>(4) 推進体制について</p> <p>まちなかの形成に当たっては、商業施策と都市整備、さらには居住や福祉、教育などの分野横断的な連携が不可欠であると考えます。</p> <p>本市において、中心市街地に関する施策を統合的に推進する体制について、現状どのように認識しているのか伺います。</p> <p>2. 投票率の向上と政治参加の促進について</p> <p>衆議院議員総選挙における富士市（第2開票区）の投票率は51.79%と、県内でも低い水準にあります。また、昨年末に実施された富士市長選挙及び富士市議会議員補欠選挙においても、投票率は40%台にとどまりました。低投票率の傾向は一過性のものではなく、構造的な課題であると認識しています。</p> <p>投票率向上に向けては、投票行動に伴う「コストの低減」と、投票によって得られる「効用の向上」双方からのアプローチが必要であると考え、以下質問いたします。</p> <p>(1) 現状認識と原因分析について</p> <p>本市として、投票率低下の要因をどのように分析しているか。また、これまで講じてきた対策とその効果について、どのように評価しているか伺います。</p> <p>(2) 投票コストの低減について</p> <p>投票率向上の観点から、物理的・心理的な負担の軽減が重要と考えます。</p> <p>① 期日前投票所の設置箇所について、拡充の検討状況を伺います。</p> <p>② 市役所内の期日前投票所について、1階や2階などの来庁者の動線上に配置するなど、アクセス性の向上に向けた見直しの可能性について伺</p>

順位	氏名（議席）	発 言 の 要 旨
7	山岡 祐貴（1）	<p>います。</p> <p>(3) 立候補環境の整備について</p> <p>民主主義の活性化には、投票率の向上とともに立候補のハードルを下げる視点も重要と考えます。例えば、ポスター掲示場の位置情報を電子データ化し、公開するなど、候補予定者が準備しやすい環境整備について、本市の考えを伺います。</p>